

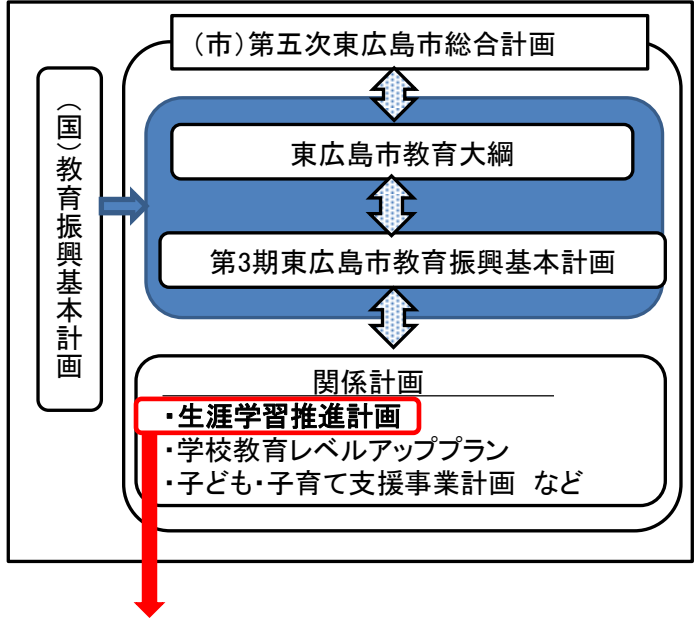
「第2期(令和6～10年度)東広島市生涯学習推進計画」の検討状況について

1 策定趣旨

本市では、令和元年度に「第1期東広島市生涯学習推進計画」を策定し、生涯学習の推進に取り組んできた。

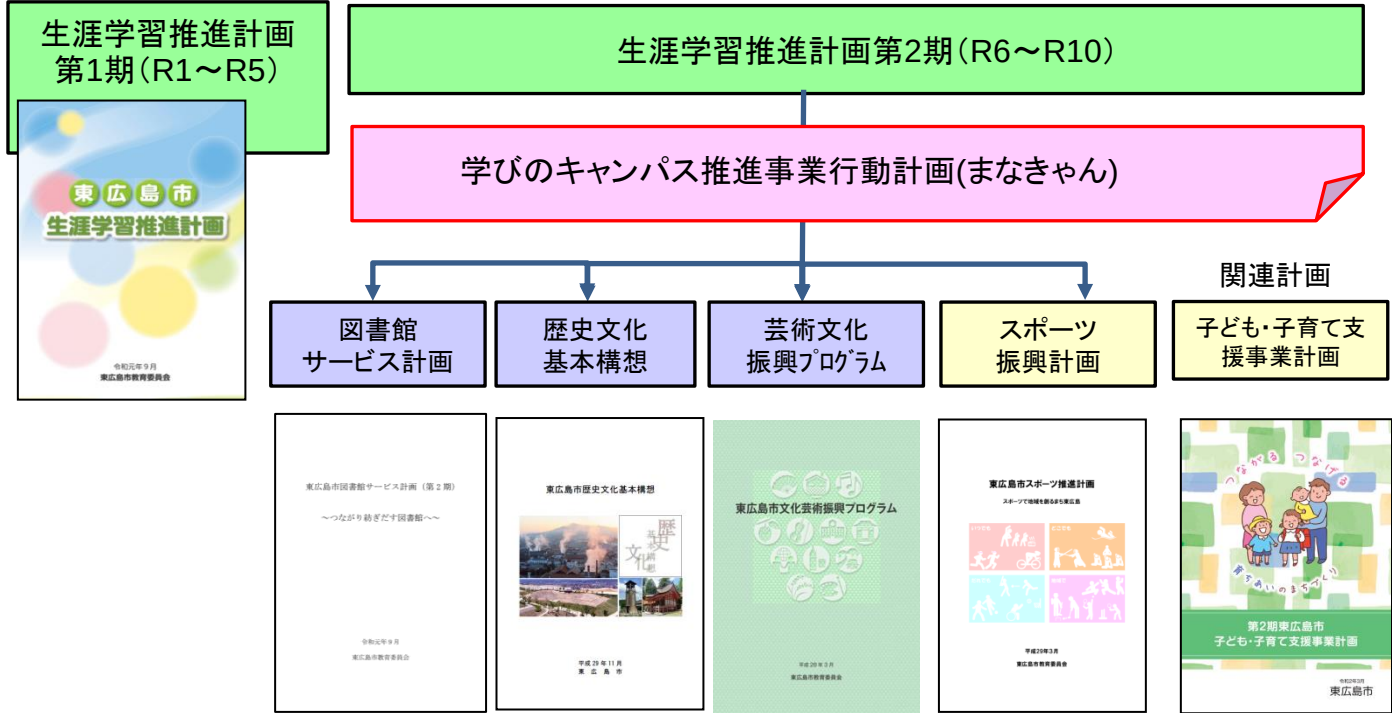
この度、第1期計画の最終年度を迎えることから、これまでの取組みを検証し、昨今の社会情勢や生涯学習を取り巻く環境の変化に対応した、新たな生涯学習の推進に向けて、「第2期東広島市生涯学習推進計画（令和6年度～令和10年度）」を策定するものである。

2 計画の位置付け



生涯学習推進計画（第2期）の策定にあたり、本市の最上位計画である「第五次東広島市総合計画」、現在、策定中の「東広島市教育振興基本計画（第3期）」や関連する他の個別計画と整合性を図る。

特に、令和4年度に策定した生涯学習の行動計画となる「学びのキャンパス推進事業」も踏まえ、「学習支援」「図書館事業」「スポーツ振興」「文化芸術振興」「青少年育成」の幅広い学びを推進する計画とする。



3 計画の推進と進捗管理

毎年度、生涯学習の諮問機関である「附属機関 社会教育委員会」への報告により進捗管理を行ってきた。第2期計画では、幅広い学びを推進する計画とするため、社会教育委員会の構成員に「文化芸術振興」、「スポーツ振興」等の専門家を新たに迎え、PDCAサイクルに基づく点検・評価等の進捗管理をより効果的に行い、本計画を着実に推進する。

表1 東広島市社会教育委員会構成員名簿

No.	大区分	小区分	旧（ R3. 5. 1～R5. 4. 30）	新（R5. 5. 1～R7. 4. 30）
			委員氏名	委員氏名
1	学識経験者	—	久井 英輔	久井 英輔
2			久次 弘子	久次 弘子
3			関口 泰久	関口 泰久
4	家庭教育	図書館 青少年	清原 秀友	清原 秀友
5		子育て	小早川 かおり	小早川 かおり
6	社会教育	リカレント	原野 昇	原野 昇
7		地域づくり	橋酒 久美子	橋酒 久美子
8		地域づくり	松原 隆二	松原 隆二
9		高齢者	—	梶永 里美
10		文化財	—	今田 幸博
11		実演芸術	—	百武 ひろ子
12		造形芸術	—	桑島 秀樹
13		スポーツ	—	渡部 和彦
14	学校教育	—	岡田 千賀子	岡田 千賀子

社会教育法(社会教育委員の設置)

第十五条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

東広島市社会教育委員設置条例

第1条 社会教育法(昭和24年法律第207号)第15条の規定により東広島市に、社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

第2条 委員の定数は、20人以内とする。

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から東広島市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱する。

4 策定スケジュール

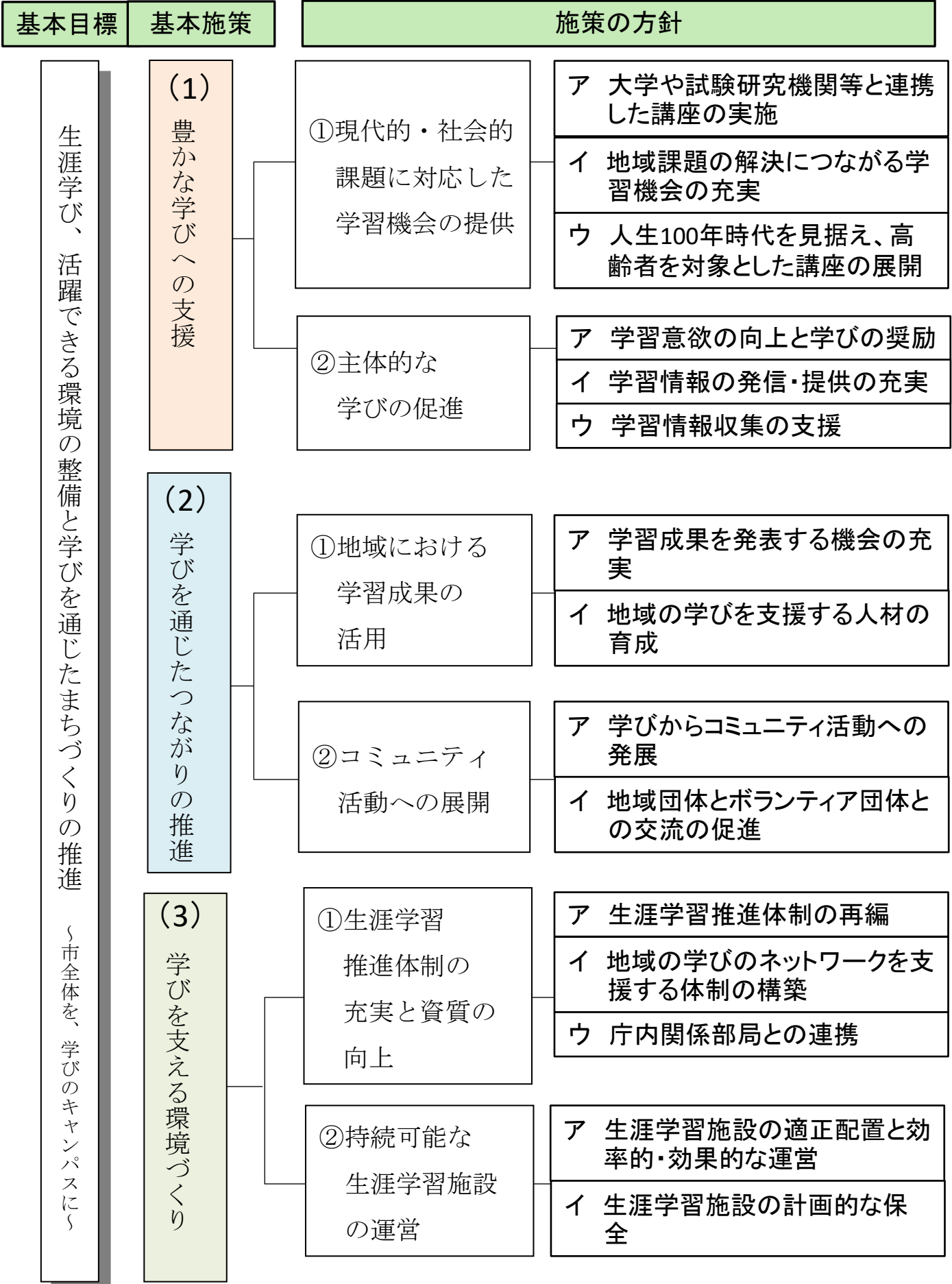
第3期教育振興基本計画

実施月	第3期策定
R 5 . 4	国の答申
5	教育委員会（報告） 策定スケジュール・ 第2期中間まとめ報告
6	教育委員会（報告） 基本理念・基本方針（案）報告
7	素案検討
8	
9	素案作成 教育委員会（報告） 素案
1 0	市議会（報告） パブリックコメント
1 1	教育委員会（報告） パブリックコメント結果
1 2	加筆・修正
R 6 . 1	成案完成 教育委員会（議案）
2	修正 市議会（議案提案）
3	市議会（議案審議） 公表
4	

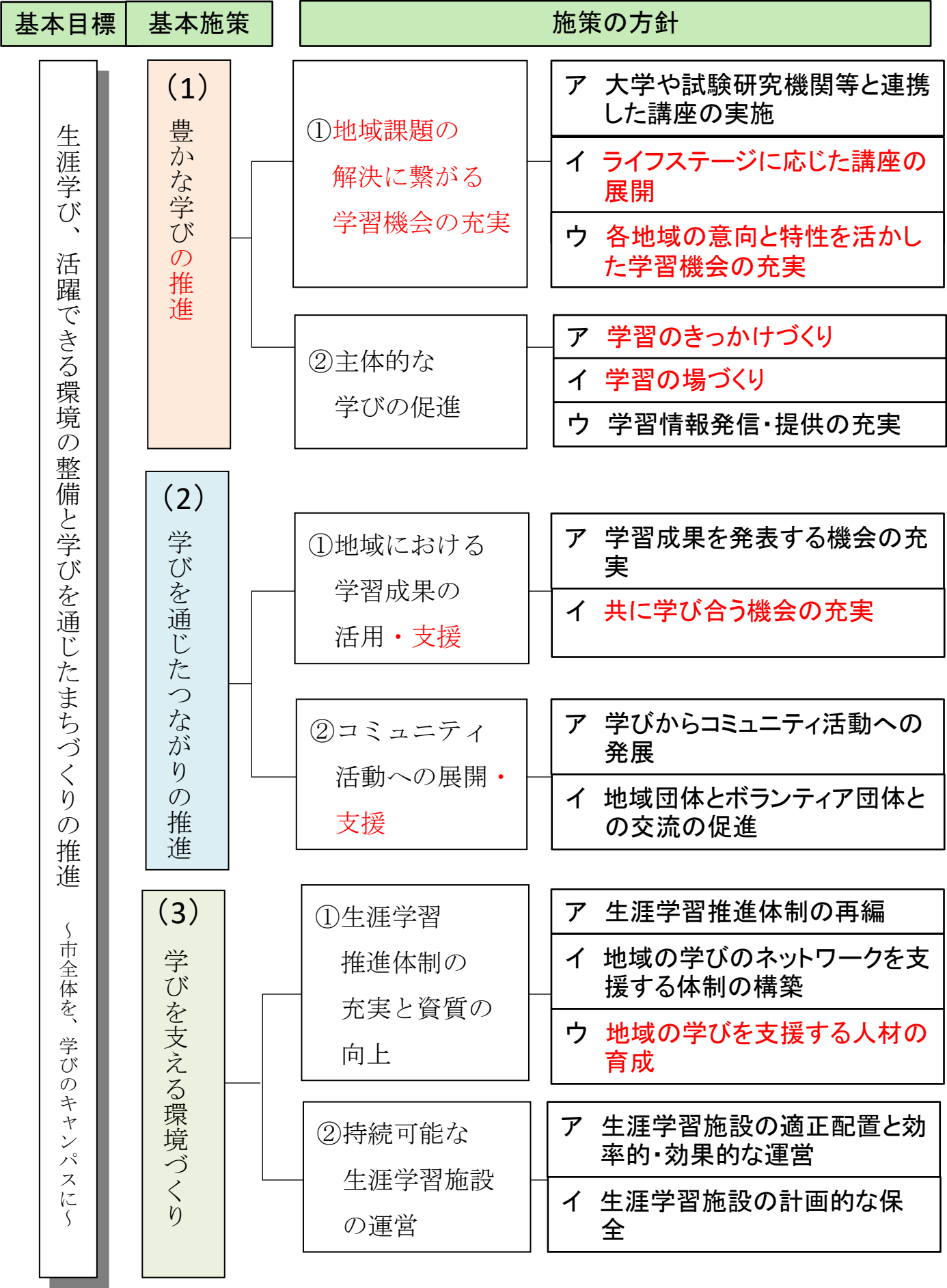
第2期生涯学習推進計画

第2期策定
まなびのキャンパス推進 行動計画 公表
1期の成果と課題 の確認
2期の基本方針案 の検討
活動指標の 検討
教育委員会（報告） 基本方針・施策方針（案）
素案策定
素案作成 社会教育委員会議 素案（報告）
教育委員会 素案（報告）
市議会（報告） パブリックコメント
確認 教育委員会（報告） パブリックコメント結果
加筆修正 成案完成
社会教育委員会議 （諮問）
教育委員会（議案）
市議会報告 公表

5 東広島市生涯学習推進計画の施策体系
(1)第1期東広島市生涯学習推進計画の施策体系



(2)第2期東広島市生涯学習推進計画の施策体系(案)



6 東広島市生涯学習推進計画の成果・課題、今後の基本方針(案)

学習支援を中心とした計画としていた「第1期東広島市生涯学習推進計画」(平成元年9月)は、計画期間の5年間で、大学等との連携基盤の構築や、市民の学習意欲の高まりに一定の成果を得ている。

第1期(令和元年度～令和5年度)

(1)豊かな学びへの支援

- ① 現代的・社会的課題に対応した学習機会の提供
 - ア 大学や試験研究機関等と連携した講座の実施
 - イ 地域課題の解決につながる学習機会の充実
 - ウ 人生100年時代を見据え、高齢者を対象とした講座の展開

評価指標	現状 平成30年度	目標 令和5年度	成果 令和4年度
○大学及び試験研究機関等との連携による主催講座等の実施回数	43回	50回	83回
○生涯学習センター・地域センター等における利用件数	38,472件	41,800件	36,885回
○生涯学習まちづくり出前講座の実施回数	224回	250回	272回
○人生100年時代を見据え、高齢者を対象とした講座の実施回数	—	36回	40回

【成果・課題】

大学や試験研究機関等と連携し、学習プログラムの充実を図り、継続的に多種多様な学習機会の提供を行った。また、学習プログラムを見直し、市民の学習ニーズに応じた取組みを行った。近畿大学と連携した「情報科学講座」「ひがしひろしま情報みらい塾」や、高齢者を対象とした「熟年マイスター教育講座」を実施するなど、個々の学習スタイル、ライフステージに応じた学習機会を提供した。

豊かな学びの創造
(理系・イノベーションの学びの強化)



広島大学 天体望遠鏡



ひがしひろしまスペースクラブの様子

主催講座による学習支援はもとより、スポーツ、文化芸術、青少年の学びの分野においても、生涯学習活動のより一層の促進に向け、ニーズの高い学習活動の支援を継続しつつ、自主活動の弱点分野に注力するなど、地域の特徴に応じた学習機会を充実させる必要がある。

第2期(令和6年度～令和10年度)

【今後の基本方針(案)】

本市の既存の資源を有効活用した「大学連携」、「人づくり」、「文化芸術」の3つの戦略分野に加え、「理系・イノベーション」、「健康」、「主体的な学び」、「環境」の4つの弱点分野を加えた、7つの戦略分野・弱点分野に注力し、現代的・社会的課題に対応した学習機会を提供していく。

また、地域においては、第五次東広島市総合計画、地域別アクションプログラムに基づき、9つの地域の特徴を活かした学びを推進する。

- (1)豊かな学びの推進 ①地域課題の解決に繋がる学習機会の充実
- ア 大学や試験研究機関等と連携した講座の実施
 - イ ライフステージに応じた講座の展開
 - ウ 各地域の意向と特性を活かした学習機会の充実

(1)豊かな学びへの支援

② 主体的な学びの促進

ア 学習意欲の向上と学びの奨励

イ 学習情報の発信・提供の充実

ウ 学習情報収集の支援

評価指標	現状 平成 30 年度	目標 令和 5 年度	成果 令和 4 年度
○生涯学習パスポート（成人用）奨励者の数	191 人	210 人	167 人
○生涯学習パスポート（小・中学生用）奨励者の数	4,494 人	5,000 人	3,153 人
○レファレンスサービス利用件数	7,958 件	8,600 件	5,591 件

【成果・課題】

市民の学習機会が増え、主体的な学びによる学習目標の達成や、継続した学習活動を奨励し、市民の学習意欲の向上につなげてきた。

また、市立図書館においては、必要とする情報を誰もが利用しやすい環境で提供するなど、学習情報収集を支援してきた。

小学生、中学生、青年期、壮年期と年齢を重ねるにつれて、生涯学習パスポートの奨励者数（率）は伸び悩んでおり、子どもの頃から主体的な学びができる仕組みづくりが必要である。

第2期(令和6年度～令和10年度)

【今後の基本方針(案)】

生涯学習社会の実現のためには、生涯にわたって学び続ける学習者としての基盤を、青少年期から培うことが重要である。そのため、青少年期から主体的に取り組むことができるように、子どもの成長段階に合わせた、切れ目のない学びを支援する。また、青少年の地域活動などへの参画を通じて自己成長の幅を広げ、異年齢交流も促進し、社会性や豊かな人間性の育成を推進する。

壮年期では、リカレント教育やリスキリング教育など、社会人が社外学習や自己啓発に取り組む際に、大学や産業界により提供される教育プログラムの紹介を行うなど連携を進めていく。

高齢期では、人生を豊かにし、第二の人生を生きる個人の意欲や能力を活かす、エイジフリーな社会に対応した学習機会の確保が重要であり、福祉施策と連携し環境を整備していく。

青少年期からの主体的な取り組み

小「やってみよう」

体験、自分が「好き」
なものを見つける

中「何をやるか考えよう」

体験した「好き」に
主体的に取り組む

高「人の役に立とう」

学び続けているものを、
「誰か」のために活かす



(1)豊かな学びの推進 ② 主体的な学びの促進

ア 学習のきっかけづくり

イ 学習の場づくり

ウ 学習情報発信・提供の充実

(2) 学びを通じたつながりの推進

① 地域における学習成果の活用

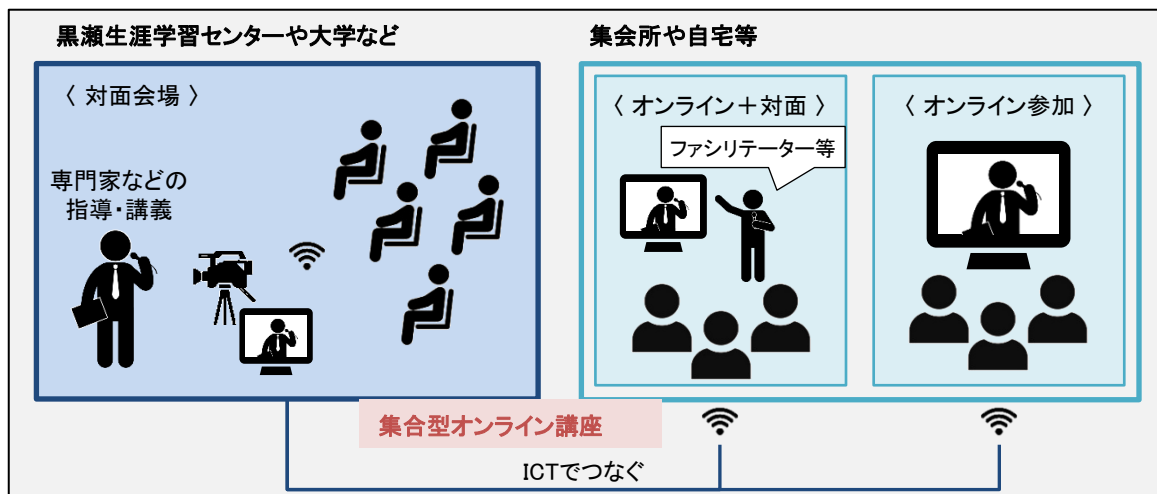
- ア 学習成果を発表する機会の充実
イ 地域の学びを支援する人材の育成

評価指標	現状 平成30年度	目標 令和5年度	成果 令和4年度
○生涯学習フェスティバル来場者数	8,500人	9,500人	5,800人
○生涯学習指導者人材バンク登録者数	59人	70人	60人

【成果・課題】

生涯学習フェスティバルを、ホームページなどのICTを活用したオンラインと対面によるハイブリッドで開催し、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するとともに新たな学びのスタイルを発信した。また、生涯学習に対する地域の意欲が市域全域に広がるよう、一部地域会場を設けて開催し、参加者の交流を通じた地域の絆づくりに取り組んだ。

市民の学習機会および成果発表の場を提供することにより、地域のつながりが醸成されつつあるが、今後は、モデル的・先駆的な学びを発信することにより、学びから地域等での実践活動につなげる必要がある。



【今後の基本方針(案)】

生涯学習フェスティバルは、より高度で魅力のあるイベントとなるよう、モデル的、先駆的な取組みを発信していく。また、各地域会場へ取組みを広げていくため、地域住民の参画や異年齢交流の促進を図り、学習成果を発表する機会の充実を図る。

スポーツ分野では、「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」、「地域で」の理念に基づき、地域のスポーツの普及に取り組むとともに、文化芸術分野では、「ふれる」、「そだてる」、「つくる」、「つなげる」の理念により、文化芸術活動に取組み、学びを通じたつながりを推進していく。

(2) 学びを通じたつながりの推進 ① 地域における学習成果の活用・支援

- ア 学習成果を発表する機会の充実
イ 共に学び合う機会の充実

(2) 学びを通じたつながりの推進

② コミュニティ活動への展開

ア 学びからコミュニティ活動への発展

イ 地域団体とボランティア団体との交流の促進

評価指標	現状 平成30年度	目標 令和5年度	成果 令和4年度
○生涯学習センター・地域センター等における自主サークル数	775 団体	815 団体	714 団体
○生涯学習ボランティアグループガイドの登録団体数	66 団体	80 団体	70 団体

【成果・課題】

生涯学習センターや地域センターにおいて、主催講座による学びを促進しつつ、受講者が講座終了後も自主的にサークルを組織し、継続した学びが展開できるよう促した。これにより、生涯学習ボランティア・市民活動交流会を開催するなど、ネットワークの強化、市民参画によるまちづくり、地域団体とボランティア団体との交流を推進した。

近年、自主サークル数は、高齢化に伴って減少するとともに、若年層の加入が進まない傾向にあるなど、継続的な学びへの展開が円滑に進んでいない。そのため、自主サークルを組織するまでの支援や仕組みづくりの見直しが必要である。

魅力づくり



【伯和ビクトリーズによる野球教室】

青少年の創造活動事業



【ダンス活性化事業】

第2期(令和6年度～令和10年度)

【今後の基本方針(案)】

生涯学習ボランティアグループガイドの登録団体や、スポーツ・文化芸術・青少年育成活動に取り組む意欲のある市民と連携し、主体的な取組みが育まれる体制づくりを支援していく。

(2) 学びを通じたつながりの推進

② コミュニティ活動への展開・支援

ア 学びからコミュニティ活動への発展

イ 地域団体とボランティア団体との交流の促進

(3) 学びを支える環境づくり

① 生涯学習推進体制の充実と資質の向上

ア 生涯学習推進体制の再編

イ 地域の学びのネットワークを支援する体制の構築

ウ 庁内関係部局との連携

評価指標	現状 平成30年度	目標 令和5年度	成果 令和4年度
○生涯学習推進員及び社会教育関係職員に向けた研修実施回数	12回	18回	23回

【成果・課題】

社会教育関係職員に対する全体的な研修や、生涯学習振興・社会教育行政に関する習熟度別研修、町を単位としたグループ別研修など、様々なメニューの研修の機会を提供することで、講座の企画等に必要な知識・技能等に関する資質の向上に努めた。

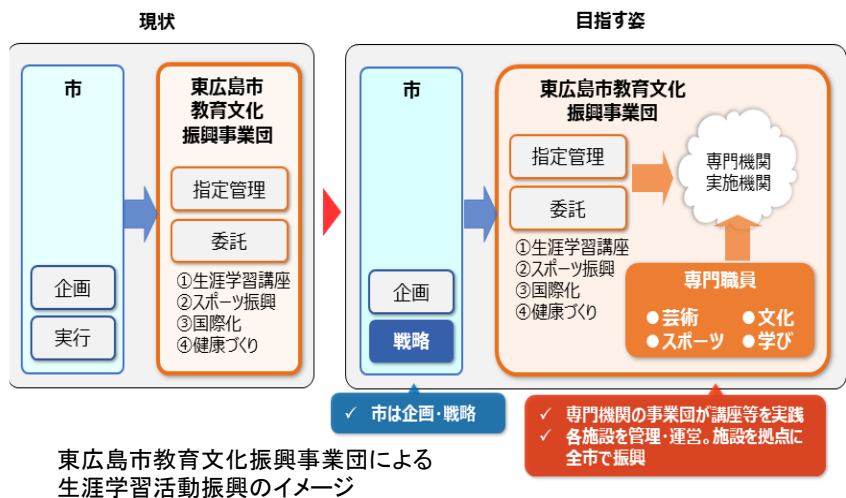
長期的・継続的な学びの振興に取り組むには、豊富な経験と専門的な技能を有する人材を確保するなど、生涯学習推進体制の強化が課題である。

第2期(令和6年度～令和10年度)

【今後の基本方針(案)】

「東広島市教育文化振興事業団」は、本市の学習、文化芸術、スポーツ活動を推進する唯一の公益財団法人であり、各施設の管理運営から生涯学習活動の振興まで総括的に実行することができる

「学びの専門機関・実施機関」であるため、事業団の体制を強化することにより、生涯学習推進体制の充実を図る。



事業団強化策として、学び・文化活動では、生涯学習推進員など、学びの支援専門員を配置し、地域センターなどの様々な施設の有効活用に取り組む。スポーツ活動では、事業団にスポーツ専門職員を雇用し、戦略を立てるとともに、スポーツ推進員等と連携し、地域へスポーツの普及に取り組む。造形芸術活動では、学芸員を配置し、美術館の展覧会の企画や市民の育成創造などに長期的・継続的に取り組む。歴史・文化財活動では、文化財の保存管理や発掘に習熟した学術専門職員を配置し、文化財の保全と活用に取り組む。

一方、市内には、大学や試験研究機関をはじめ、多くの優秀な人材が所在する。また、地域にはその特徴を熟知した人材や、文化・芸術やスポーツ活動のリーダーとなる人材が多く所在しており、こうした人材の育成と活用を推進する。

(3) 学びを支える環境づくり ① 生涯学習推進体制の充実と資質の向上

ア 生涯学習推進体制の再編

イ 地域の学びのネットワークを支援する体制の構築

ウ 地域の学びを支援する人材の育成

(3)学びを支える環境づくり

② 持続可能な生涯学習施設の運営

ア 生涯学習施設の適正配置と効率的・効果的な運営

イ 生涯学習施設の計画的な保全

評価指標	現状 平成 30 年度	目標 令和 5 年度	成果 令和 4 年度
○生涯学習センター・地域センター等の利用者数	568, 220 人	619, 000 人	470, 162 人

【成果・課題】

生涯学習センター、地域センター等における利用者数は、コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者数が大きく減少したものの、令和4年度は、前年度に比べ約12万人増加しており、コロナ禍前の利用状況に戻りつつある。生涯学習センター各ホールでは、各地域の特徴を活かした活動を推進し、効果的な活用を図る必要がある。また、今後は生涯学習センター以外の施設である、図書館、博物館、スポーツ施設においても、施設ごとの特色ある取組みを推進し、持続可能な生涯学習施設の運営を行っていく必要がある。

第2期(令和元年度～令和5年度)

スポーツの聖地化

旧東志和小学校体育館(外観)



室内ペタンク



図書の利用促進

としよ丸



【今後の基本方針(案)】

公立ホールは、各地域の特徴を活かした魅力ある自主事業を展開していく。

図書館は、各町に地域館としての基本的機能を整備するとともに、各地区の地域館を特徴化するほか、市民が図書に触れる機会を増やすため、電子図書機能やとしよまる号による配架を強化していく。

博物館は北部、中部、南部の3エリアで連携を深めながら、特徴に合わせた運営を図る。

スポーツ施設は、さらなる聖地化や特徴化により、既存施設の有効活用に努め、市民のスポーツ活動の利便性を図る。

(3)学びを支える環境づくり ② 持続可能な生涯学習施設の運営

ア 生涯学習施設の適正配置と効率的・効果的な運営

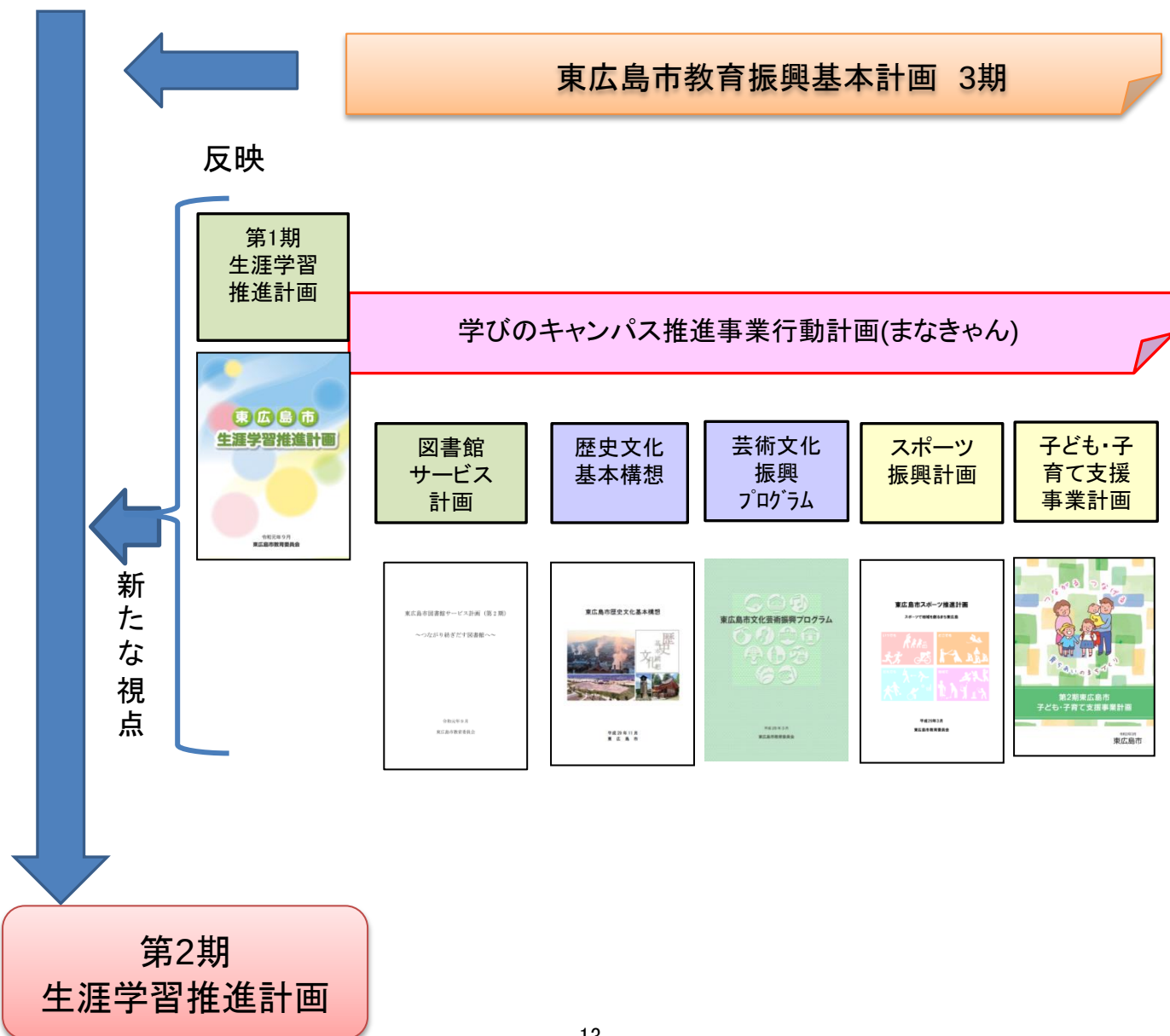
イ 生涯学習施設の計画的な保全

【全体総評】

近年、社会情勢の急激な変化に伴い、人生100年時代を見据えた学び、リカレント教育やリスキリング教育による社会人の学び直し、ICT活用などによるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、個々の学習スタイルやライフステージに応じた学びの多様化が進んでいる。

こうした現代的・社会的課題、市民ニーズに対応するため、大学や試験研究機関等との連携をはじめ、近年では民間企業を積極的に活用するなど、門戸を広げ市内の様々な地域で市主催事業や民間活動、ボランティア活動等により学習機会の提供を行ってきた。

今後は、市民による主体的な地域づくりや地域福祉などの実践活動に繋がり、「学び」から「実践」への好循環が育まれ、市全体が学びのキャンパスとなるよう、これまでの施策に加えより一層、生涯学習活動を持続的かつ積極的に行われる環境を整備し、大学等の各種機関と連携を密にすることで、持続可能な学びを提供していく。



参考資料

成果指標(案)と、活動目標値(案)

- 成果指標

第2期生涯学習推進計画

満了時(R10.3)の目標指標

- 活動目標値

事業(施策の方針)単位の

年度別目標値

(別添目標値はR6年度目標値)

	中項目	小項目	まなきやんの項目NO	まなきやんの項目	課題項目	戦略	事業NO	事業名
(一)豊かな学びの推進	① 地域課題の解決に繋がる学習機会の充実	大学や試験研究機関等と連携した講座の実施	1	主催講座の分野は7つの戦略を重点化する	大学連携講座	学習支援	1	「東広島学」の開催
						学習支援	2	「学んで輝くひと・まち塾」ボランティア発見講座の開催
						学習支援	3	「広大マスターズ市民講座」の開催
						学習支援	4	「生涯学習サテライトキャンパス講座」の開催
					人づくり講座	文化	5	「親と子の体験歴史村」講座の実施
						学習支援	6	「親の力」をまなびあう学習プログラム等の開催
						学習支援	7	ブックデビュー推進講座等の開催
					文化芸術講座	文化	8	「親と子の体験歴史村」講座の実施【再掲5番】
						学習支援	9	出前講座の実施(健康・福祉)【再掲106番】
						学習支援	10	「ひがしひろしまスペースクラブ」の実施
					健康講座	学習支援	11	東広島天文台観望会の開催
						学習支援	12	情報科学講座「ひがしひろしま情報みらい塾」の実施
						学習支援	13	理系・イノベーション講座
					理系・イノベーション講座	学習支援	14	東広島熟年マイスター教育講座の開催
						学習支援	15	市民企画講座の実施
						学習支援	16	出前講座の実施(環境)【再掲106番】
		ライフステージに応じた講座の展開	2	主催講座の世代は青少年を重点化する【再掲4番】	小「ら」やってみよう、中「何やるか考えよう」、高「人の役に立とう」の3ステップで学びの推進	芸術	17	どこでも美術館【再掲92番】
						芸術	18	どこでも博物館【再掲93番】
						芸術	19	はじめてビジュアルカン【再掲94番】
					まなぶちゃんノート・ジュニアパスポート・生涯学習パスポートの利用推進	学習支援	20	生涯学習パスポートの活用【再掲39番】
						青少年	21	児童厚生員の配置【再掲40番】
						青少年	22	ゆーすふる・チャレンジヤーの開催【再掲41番】
					児童青少年センター活動の充実、青少年の地域活動・交流の推進、児童の放課後活動の充実	青少年	23	親子わくわく講座の開催【再掲42番】
						青少年	24	青少年の地域活動の「体験の場」の提供【再掲43番】
						青少年	25	地域活動参画に係る講座の開催【再掲44番】
						青少年	26	放課後子供教室の実施【再掲45番】
						学習支援	27	地域学校協働活動体制の構築【再掲46番】
		各地域の意向と特性を活かした学習機会の充実	3	地域の学びは、特徴化を進める	成人式(二十歳のつどい)	青少年	28	「二十歳のつどい」の開催【再掲47番】
						学習支援	29	主催講座の開催
						学習支援	30	集合型オンライン講座
					黒瀬地区における地域センターの無い地域としてのスタイルの試行(集合型オンライン講座など)	学習支援	31	出前講座の開催(黒瀬地区)【再掲106番】
						学習支援	32	出前講座の開催(福富・志和地区)【再掲106番】
						学習支援	33	出前講座の開催(豊栄・河内地区)【再掲106番】
					福富・志和地区における郷土愛や環境保全の学びの推進	学習支援	34	出前講座の開催(安芸津地区)【再掲106番】
						学習支援	35	出前講座の開催(西条・八本松・高屋地区)【再掲106番】
						学習支援	36	どこでも美術館【再掲92番】
		② 主体的な学びの促進	4	主催講座の世代は青少年を重点化する	小「ら」やってみよう、中「何やるか考えよう」、高「人の役に立とう」の3ステップで学びの推進	芸術	37	どこでも博物館【再掲93番】
						芸術	38	はじめてビジュアルカン【再掲94番】
					まなぶちゃんノート・ジュニアパスポート・生涯学習パスポートの利用推進	学習支援	39	生涯学習パスポートの活用
						青少年	40	児童厚生員の配置
						青少年	41	ゆーすふる・チャレンジヤーの開催
					児童青少年センター活動の充実、青少年の地域活動・交流の推進、児童の放課後活動の充実	青少年	42	親子わくわく講座の開催
						青少年	43	青少年の地域活動の「体験の場」の提供
						青少年	44	地域活動参画に係る講座の開催
						青少年	45	放課後子供教室の実施
					地域学校協働活動の積極的な参画	学習支援	46	地域学校協働活動体制の構築
						青少年	47	「二十歳のつどい」の開催
		学習のきっかけづくり	5	スポーツ	スポーツの魅力づくり	スポーツ	48	トップアスリートによるスポーツ教室
						スポーツ	49	各種スポーツイベントの開催
						スポーツ	50	ウォーキングコースの整備
					いつでもスポーツ	スポーツ	51	スポーツ普及講座の開催
						スポーツ	52	廃校施設の利用促進
						スポーツ	53	既存施設の聖地化・特徴化を図る
		学習の場づくり	6	スポーツ施設の特徴化【再掲36番】	廃校施設の聖地化・特徴化	学習支援	54	国際化・和文化事業の実施
						学習支援	55	舞台芸術活動の推進
						学習支援	56	音楽・演劇育成の推進
					既存施設の聖地化・特徴化	学習支援	57	劇団や表現活動の支援
						学習支援	58	サテライトキャンパス講座支援
						文化	59	出土文化財企画展示【再掲152番】
					西条 市民文化センターの国際化・和文化機能	文化	60	安芸津歴史民俗資料館 展示会
						文化	61	新文化財センターの整備
						図書館	62	障害者の読書活動支援
		学習情報の発信・提供の充実	7	公立ホール(劇場型ホール)のある施設の特徴化【再掲34番】	黒瀬 黒瀬生涯学習センターの舞台芸術活動推進	図書館	63	レファレンスサービスの拡充
						図書館	64	図書館活用力の向上支援
						図書館	65	子どもの読書活動推進
					豊栄 豊栄生涯学習センターの音楽・演劇育成事業	学習支援	66	講座サークルガイドブックの発行
						文化	67	広報誌「東広島市史編さんだより」の発行
						文化	68	広報誌「東ひろしまの遺跡」発行
					安芸津 安芸津生涯学習センターの劇団や表現活動支援事業	文化	69	歴史資料のデジタル化
						文化	70	指定管理による運営、自主事業の開催
						芸術	71	特別事業の開催
		博物館施設の特徴化【再掲35番】	8	博物館機能【再掲21番】	北部自然史	芸術	72	指定管理による美術館の管理運営(常設展等の開催)
						文化	73	出土文化財企画展示【再掲152番】
						文化	74	出土文化財報告会、遺跡の現地見学会開催【再掲153番】
					中部郷土史	図書館	75	障害者の読書活動支援【再掲62番】
						図書館	76	レファレンスサービスの拡充【再掲63番】
						図書館	76	レファレンスサービスの拡充【再掲63番】

参考資料

事業NO	活動目標値	備考(R7～)	成果指標案
1	回数:15回、参加者数:65人		- 生涯学習を行っている人の割合 - 生涯学習に満足している人の割合 - 地域課題の解決に向けた講座の占める割合
2	回数:8回、参加者数:20人		
3	回数:20回(5講座×4回連続)、参加者数:75人		
4	回数:18回、参加者数:560人		
5	回数:2回、参加者数:30組(60人)		
6	回数:40回、参加者数:315人		
7	回数:40回、参加者数:415組		
8	回数:2回、参加者数:30組(60人)		
9	回数:90回		
10	回数:12回(2クラス×6回連続講座)、参加者数:50人		
11	回数:4回程度、参加者数:500人		
12	回数:3回程度、参加者数:延べ30人		
13	回数:50回程度(主催講座含む)、参加者数:延べ150人		
14	回数:30回、参加者数:延べ300人		
15	支援件数:3件		
16	回数:30回		
17	市内小中学校:23校		
18	市内小中学校:6校		
19	小学4年生:32校		
20	奨励者数:子ども版(小中):小学生2,500人、中学生50人、大人版150人		
21	相談者数:延べ250人		
22	参加者数:30人		
23	回数:12回、参加者数:230人		
24	回数:3回、参加者数:45人		
25	回数:9回、参加者数:90人		
26	教室数:1教室増(全18教室)	地域学校協働活動(放課後子供教室含む)・CSで連携し、一体的に推進していく。	
27	設置校数:8校増(全46校)		
28	出席率:64%		
29	回数:2,800回		
30	回数:8回		
31	回数:30回		
32	回数:15回		
33	回数:20回		
34	回数:10回		
35	回数:175回		
36	市内小中学校:23校	- 出前美術館・博物館、芸術体験事業の満足度の割合 - 埋蔵文化財へ興味・関心を持ったと回答した小学生・保護者の割合 - 週に1日以上スポーツする人の割合 - 芸術施設の若年層利用者の増加数 - レファレンス件数 - 市民一人当たりの図書等貸出冊数 - 青少年が関わった地域活動の実施数	
37	市内小中学校:6校		
38	小学4年生:32校		
39	奨励者数:子ども版(小中):小学生2,500人、中学生50人、大人版150人		
40	相談者数:延べ250人		
41	参加者数:30人		
42	回数:12回、参加者数:230人		
43	回数:3回、参加者数:45人		
44	回数:9回、参加者数:90人		
45	教室数:1教室増(全18教室)		地域学校協働活動(放課後子供教室含む)・CSで連携し、一体的に推進していく。
46	設置校数:8校増(全46校)		
47	出席率:64%		
48	回数:3回		
49	市民スポーツ大会全競技種目全小学校区参加率:95%		
50	モデルコース新設:1コース(全54コース)		
51	参加者数:延べ7,000人		
52	利用回数:50回		
53	施設数:新規3施設		
54	事業数:10回(ホールを活用した事業)		
55	事業数:4回(ホールを活用したイベント事業)		
56	事業数:1回(練習の場としてのホール充実化事業)		
57	事業数:1回(地元団体への活動支援事業)		
58	回数:1回(自然をテーマとした講座)		
59	回数:1回		
60	回数:1回		
61	整備進捗率:50%		
62	年間郵送貸出利用者数:20人		
63	レファレンス協同データベース一般公開件数:25件		
64	調べる学習コンクールの開催:1回		
65	関係団体等連絡会開催:2回		
66	回数:1回		市民ポータルの活用による情報発信を進めていく。
67	回数:2回		
68	回数:2回		
69	資料のデジタルデータ化:40,000点		
70	回数:50回程度		
71	回数:1回		
72	回数:5回		
73	回数:1回		
74	回数:報告会1回、見学会は適宜		
75	年間郵送貸出利用者数:20人		
76	レファレンス協同データベース一般公開件数:25件		

参考資料

	中項目	小項目	まなきや ん項目NO	まなきやんの項目	課題項目	戦略	事業NO	事業名
(2) 学びを通じたつながりの推進	① 地域における学習成果の活用・支援	学習成果を発表する機会の充実	15	学びを通じたつながりの推進	生涯学習フェスティバル	学習支援	77	生涯学習フェスティバルの実施
			16	くららを活用した芸術文化活動機会の創出【再掲12番】	東広島芸術文化ホール「そだてる」機能	文化 芸術	78 79	けんみん文化祭の開催(分野別・地区) 指定管理による運営、自主事業の開催【再掲70番】
			17	博物館機能【再掲21番】	博物館「はぐくむ」機能 博物館「つくる」機能 博物館「つなぐ」機能	芸術 文化 芸術	81 82 83	くららダンスの日のイベント開催 市内文化財施設を活用した、市民美術ウィーク(市美展等)の開催【再掲84番】 登録有形文化財等の活用(ユニークベニュー)【再掲148番】 市民団体による文化活動(音楽サークル、茶道等)の発表の場として、指定文化財建築を提供し活用
			18	市立美術館と各地域の生涯学習施設等との連携事業の展開	丸ごと美術館	芸術	84	市内文化財施設を活用した、市民美術ウィーク(市美展等)の開催
		共に学び合う機会の充実	19	人材バンク【再掲32番】	生涯学習指導者人材バンク アーティストバンク	学習支援 芸術	85 86	生涯学習指導者の登録【再掲127番】 アーティストバンクの活用【再掲128番】
			20	くららを活用した芸術文化活動機会の創出【再掲12番】	東広島芸術文化ホール「つくる」機能 東広島芸術文化ホール「つなげる」機能	文化 芸術 芸術 芸術	87 88 89 90	芸術文化活動の支援 指定管理による運営、自主事業の開催【再掲70番】 指定管理による運営、自主事業の開催【再掲70番】 アーティストバンクの活用【再掲128番】
			21	博物館機能	博物館「はぐくむ」機能 博物館「つくる」機能 博物館「つなぐ」機能	芸術 芸術 芸術 芸術	91 92 93 94 95 96	コンシェルジュ業務相談 どこでも美術館 どこでも博物館 はじめてビジュツカン 企画展連携及び独自ワークショップの実施(切り絵等) 美術館ボランティアとの活動
			22	スポーツ【再掲5番】	地域単位のスポーツの普及促進 地域でスポーツ だれでもスポーツ	スポーツ スポーツ スポーツ スポーツ スポーツ スポーツ スポーツ	98 99 100 101 102 103 104	ウォーキングによる健康づくり 出場奨励金の交付 開催助成金の交付 スポーツ少年団交歓会助成金の交付 スポーツ協会の支援 スポーツ推進委員の育成【再掲129番】 コミュニティ健康運動パートナーの育成【再掲130番】
	② コミュニティ活動への展開・支援	学びからコミュニティ活動への発展	23	学びと実践の好循環	地域共生社会の実現	学習支援	105	人権講座の開催
			24	コミュニティ	地域コミュニティの活性化 東広島芸術文化ホール「そだてる」機能	学習支援 文化	106 107	出前講座の実施 けんみん文化祭の開催(分野別・地区)【再掲78番】
			25	つながり紡ぎ出す図書館へ【再掲9番】	地域の図書館	図書館	108	地域を学ぶ機会の提供
			26	部活の地域移行	部活の地域移行 スポーツの魅力づくり 東広島芸術文化ホール「そだてる」機能	スポーツ スポーツ 芸術	110 111 112	部活動の地域展開 トップアスリートによるスポーツ教室【再掲48番】 くららダンスの日のイベント開催【再掲80番】
		地域団体とボランティア団体との交流の促進	27	ボランティア	地域課題の解決	学習支援	113	ボランティア活動の推進
	① 生涯学習推進体制の充実と資質の向上	生涯学習推進体制の再編	28	長期的・継続的振興のための体制強化	スポーツ活動の職員体制強化 造形芸術の職員体制強化 歴史・文化財の職員体制強化 学び・文化活動の職員体制強化	スポーツ 芸術 文化 学習支援	114 115 116 117	スポーツ活動の職員体制強化 造形芸術の職員体制強化 歴史・文化財の職員体制強化 学び・文化活動の職員体制強化
			29	主催講座の分野は7つの戦略を重点化する【再掲1番】	大学連携講座	学習支援	118 119 120 121 122	「東広島学」の開催【再掲1番】 「学んで輝くひと・まち塾」ボランティア発見講座の開催【再掲2番】 「広大マスターズ市民講座」の開催【再掲3番】 「生涯学習サテライトキャンパス講座」の開催【再掲4番】 「親と子の体験歴史村」講座の実施【再掲5番】
		地域の学びのネットワークを支援する体制の構築	30	研修	社会教育関係者研修	学習支援	123	人権教育研修会の開催等
		地域の学びを支援する人材の育成	31	巡視	地域の安全・安心の推進	学習支援 青少年 青少年	124 125 126	社会教育関係等研修会の開催等 青少年指導員による巡視活動 青少年問題協議会の開催
			32	人材バンク	生涯学習指導者人材バンク アーティストバンク	学習支援 芸術	127 128	生涯学習指導者の登録 アーティストバンクの活用
	② 持続可能な生涯学習施設の運営	生涯学習施設の適正配置と効率的・効果的な運営	33	スポーツ【再掲5番】	だれでもスポーツ	スポーツ スポーツ	129 130	スポーツ推進委員の育成 コミュニティ健康運動パートナーの育成
			34	公立ホール(劇場型ホール)のある施設の特徴化	西条 市民文化センターの国際化・和文化機能 黒瀬 黒瀬生涯学習センターの舞台芸術活動推進 豊栄 豊栄生涯学習センターの音楽・演劇育成事業 安芸津 安芸津生涯学習センターの劇団や表現活動支援事業	学習支援 学習支援 学習支援 学習支援	131 132 133 134	国際化・和文化事業の実施【再掲54番】 舞台芸術活動の推進【再掲55番】 音楽・演劇育成の推進【再掲56番】 劇団や表現活動の支援【再掲57番】
			35	博物館施設の特徴化	北部自然史 中部郷土史 南部海文化 新文化財センターと郷土史資料館	文化 文化 文化 文化	135 136 137 138	サテライトキャンパス講座支援【再掲58番】 出土文化財企画展示【再掲152番】 安芸津歴史民俗資料館 展示会【再掲60番】 新文化財センターの整備【再掲61番】
			36	スポーツ施設の特徴化	廃校施設の聖地化・特徴化 既存施設の聖地化・特徴化を図る【再掲53番】	スポーツ スポーツ	139 140	廃校施設の利用促進【再掲52番】 既存施設の聖地化・特徴化を図る【再掲53番】
			37	つながり紡ぎ出す図書館へ	役立図書館 図書館の特徴化 としよ丸号の強化 図書館の電子化	図書館 図書館 図書館 図書館	141 142 143 144 145	電子図書館の拡充 出張図書館の拡充 DX図書館の設置 出張図書館の拡充【再掲142番】 電子図書館の拡充【再掲141番】
		生涯学習施設の計画的保全	38	長期修繕計画	長寿命化	その他	146	長寿命化計画に基づく施設管理
			39	スポーツ【再掲5番】	どこでもスポーツ	スポーツ	147	スポーツ施設の維持管理
			40	文化財	文化財の保存と活用	文化	148	登録有形文化財等の活用(ユニークベニュー)
			41	歴史的景観保全	伝建	文化	149	西条清蔵通り地区伝統的建造物群保存地区制度にかかる住民説明会
			42	埋蔵文化財	埋蔵文化財・出土文化財の保全と活用	文化	150 151 152 153	住民への広報・周知のための通信配布 出土文化財を常設展示・通報展示 出土文化財企画展示 出土文化財報告会、遺跡の現地見学会開催

参考資料

事業NO	活動目標値(R6年度)	備考(R7～)	成果指標案
77	来場者数:5,800人		・コミュニティ健康運動パートナーやスポーツ推進委員の活動実績数 ・生涯学習フェスティバルの来場者数 ・どこでも美術館、どこでも博物館、出前講座、ユニークベニューにより地域の文化芸術をつなげる事業の実施数 ・異年齢交流・体験活動の実施数
78	回数:各1回		
79	回数:50回程度		
80	参加者数:200人		
81	応募数:一般200点・ジュニア500点、無鑑査作家の作品展示		
82	回数:2回		
83	回数:2回		
84	応募数:一般200点・ジュニア500点、無鑑査作家の作品展示		
85	生涯学習指導者人材バンク登録者数:70人		
86	回数:3回		
87	後援回数:130回		
88	回数:50回程度		
89	回数:50回程度		
90	回数:3回		
91	件数:25回		
92	市内小中学校:23校		
93	市内小中学校:6校		
94	小学4年生:32校		
95	回数:4回		
96	回数:2回		
97	回数:3回		
98	ウォーキングイベント数:9回		
99	【全国大会】個人:137人・団体:25団体、【国際大会】個人:5人		
100	全国大会:1件		・各種主催講座等の受講により、コミュニティ活動に取り組んで行こうとする人の割合 ・生涯学習センター・地域センター等における自主サークル数
101	交歓会回数:30件		
102	アクアパークチャレンジスポーツ参加協力数:17団体		
103	育成人数:各小学校区2人		
104	生きがい健康体育大学受講者:50人		
105	回数:42回		
106	回数:250回		
107	回数:各1回		
108	地域学習講座の開催:5講座		
109	電子図書館への地域行政資料の搭載:10点追加		
110	指導団体情報提供数:3競技		
111	回数:3回		
112	参加者数:200人		
113	ボランティア交流会参加者数:50人、生涯学習ボランティアグループ登録団体数:72団体		
114	事業団職員数:1名確保		
115	事業団職員数:3名継続育成		
116	事業団職員数:1名確保		
117	指定管理協定締結		
118	回数:15回		
119	回数:8回		
120	回数:20回(5講座×4回連続)		・生涯学習指導者人材バンク登録者数 ・大学や試験研究機関等との連携事業の件数
121	回数:18回		
122	回数:2回		
123	回数:4回		
124	回数:14回		
125	回数:1,200回		
126	回数:1回		
127	生涯学習指導者人材バンク登録者数:70人		
128	回数:3回		
129	育成人数:各小学校区2人		
130	生きがい健康体育大学受講者:50人		
131	事業数:10回(ホールを活用した事業)		
132	事業数:4回(ホールを活用したイベント事業)		
133	事業数:1回(練習の場としてのホール充実化事業)		
134	事業数:1回(地元団体への活動支援事業)		
135	回数:1回(自然をテーマとした講座)		
136	回数:1回		
137	回数:1回		
138	整備進捗率:50%		
139	利用回数:50回		
140	施設数:新規3施設		・スポーツ施設の利用者満足度 ・青少年施設の利用者数
141	年間閲覧回数:20,000回		
142	年間出張図書館貸出点数:500冊		
143	—	西高屋情報ラウンジ年間利用者数(R7～):24,000人	
144	年間出張図書館貸出点数:500冊		
145	年間閲覧回数:20,000回		
146	施設数:4施設(※250以上の工事、修繕、その他委託)(施設所管課:生涯学習課、スポーツ振興課、文化課)	①市民文化センターホール照明更新、②黒瀬生涯学習センター長寿命化工事設計、③芸術文化ホール舞台設備更新、④黒瀬市民プールヒーター・ボイラー改修	
147	施設利用者数:310,000人		
148	回数:2回		
149	回数:2回		
150	回数:2回		
151	回数:2回		
152	回数:1回		
153	回数:報告会1回、見学会は適宜		